

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840070 _ 001

【1.基本情報】

事業名	水防施設保全					
担当部名	基盤整備部		担当課名	水防対策課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	31	年度～	年度	根拠法令・関連計画	水防法

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	水防活動を円滑に行うための水防施設等の機能を維持・管理する。					
内容 (手段・手法など)	水防倉庫及び水防団員詰所の改築等による建築工事 長良川防災・健康ステーションの維持管理					
事業の 対象	何を	水災害				
	誰に	市民に対して				
	どのくらい	被害を最小限に低減する				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	5,200	160	9,690	300	7,855	247
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	5,200	160	9,690	300	7,855	247

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		67,693	108,170	9,668
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	64,114	31,597	0
	委託料	3,579	7,662	7,032
	需用費	0	67,162	2,306
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		67,693	108,170	9,668

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	72,893	117,860	17,523

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	72,893	117,860	17,523

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	地域住民	地域住民	地域住民
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	水防施設の改築等		単位	件数
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	5		2	0
実績値	5		2	0

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	水防施設の機能を維持		単位	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—		—	—
実績値	—		—	—
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民の生命と財産を守る、各地域の水防団が水防活動を行う拠点となる施設の整備及び管理であるため、市民ニーズに合っている。 岐阜市が所管する施設であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民の生命と財産を守る、各地域の水防団が水防活動を行う拠点としての効果を図っている。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	水害時の水防活動の拠点とする施設であり有効である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	市民の生命と財産を守るための施設であり、受益者を市民とすることは適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	水防活動行う拠点施設の整備及び管理は、水害から市民の生命と財産を守る上で、必要な事業であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。